

社会福祉法人みたか福祉会
令和5年度 事業計画書

- I. 全体方針
- II. 法人概要
- III. 法人役員等
- IV. 会議の開催および監事監査の実施
- V. 事業所概要
- VI. おもな活動予定

I. 全体方針

本年4月には法人設立8期目を迎えます。事業開始から5年間を経過することができます。法人運営ならびに事業運営において様々な苦難はありましたが、新たな年度を迎えることができることに、ご協力いただきました皆様には改めて御礼を申し上げます。

これまでの運営のなかで得てきたことを活かし、次年度の目標として引き続き「人間力の強化」を掲げたいと考えます。

1、より良いサービス提供を継続するため、人財の定着化

(1) 人財の定着

入職時には一定の評価期間（必要に応じて有期契約による雇用期間）を設け、入職後は、業務の遂行能力だけではなく人間性や協調性を見極め、こちらが求める人材に近づけるように働きかけをおこなうことで定着につなげていきます。

あわせて、長く勤務を続けていただくために、利用者の重度化にともなう職員の負担軽減、転倒リスクや急変を早期発見するためのICT機器の導入、なども各部門と協議のうえ進めていきたいと考えます。

日常のコミュニケーションとともに、管理職との定期的な職員面談をおこなうことにより、相互理解を深める取り組みは継続していきます。

(2) 人財の育成

法人として全職員が質の高いサービスを提供できるように、職員それぞれに合わせた育成体制の構築が喫緊の課題となっております。全職員が主体的に行動できるようにケアプランの充実を目指し、みずからの職務に対する意識や役割を浸透させていきます。

また、職員としての能力にばらつきがあるため、介護職・医療職として求められるスキルへの引き上げを図っていきます。全員が同じ知識や情報を得られるように、オンライン研修などを活用し、法人全体として人財育成をおこなっていきます。

さらに、入職後、法人内のサービス特性を活かし、グループホームと看護小規模多機能に所属する職員同士が、交流形式でおこなう研修を検討していきます。認知症ケア・医療的ケア・身体的ケアのスキルを高めるだけでなく、お互いの取り組みについても理解を深める機会をつくっていききたいと考えます。

(3) 人財の確保

人財不足は業界全体の課題となっております。当法人においても例外ではありません。事業の安定的な運営を担保するには、まだ十分とはいえない状況にあります。求人活動において、これまで以上に法人の魅力を多方面から発信し、求職者に訴求することが求められます。

そのために、法人で運用しているホームページやSNSを活用し、仕事や働き方の魅力を発信し、地域にも事業や人財の情報を発信していきます。そして外部機関（資

格養成校・人材紹介事業者など)と良好な関係をつくり安定的な紹介をいただくこと、さらには職員みずからが紹介したくなるような職場づくりをおこなうこと、など様々な方法で人財の充実に努めていきます。

2、ご利用者・職員・地域の方々に安心していただける健全な経営

(1) 運営体制の整備

法令に定められた基準にそったサービス提供をおこなうため、事業所に求められる運営体制の整備を進めていきます。

前年に引き続き、下記の4点を軸に、BCP(事業継続計画)の策定、シミュレーションや訓練実施などを継続して進めていきます。

- ① サービス運営体制や業務の取組み方の見直し
ケアプランの充実を図り、サービスの向上を目指します。
- ② 感染症対策の強化
- ③ 感染症・災害発生時の業務継続に向けた対応強化
- ④ 災害時の地域との連携

あわせて、各サービスにおける機能強化や質の向上を目指し、人員配置の適正化や加算取得などについても検討を進めていきます。

また、感染症拡大防止・事故防止・虐待防止・ハラスメント防止の観点から、法人内における各リスクを最小限に抑えるために、行動指針の周知や業務の平準化をおこなっていきます。

今年度は、セーフティーネットの役割を果たすべく、生活保護対象者の受け入れを開始しました。今後も引き続き継続していきます。

(2) 認知度の向上

医療機関からの利用者紹介や密接な連携、三鷹市の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへのPR活動、地域ケアネット委員会への参加などにより、徐々に法人の知名度も上がり、具体的なご利用につながるケースも増えてきました。

次年度は、さらなる利用者確保につなげるため、法人ホームページやウェブ媒体での発信力を強化していきます。外部機関やご家族・関係者の皆様に向けて、事業内容をわかりやすく提示し、営業ツールのひとつとして訴求力を高めていきます。

3、事業を安定して維持継続できるための経営基盤づくり

(1) 財務体制の安定化

財務の安定化には、常に収益を意識した事業活動をおこなうことが大切となります。そこで、役職員だけでなく全職員が稼働率を意識し高めてゆくために、事業計画に盛り込まれた目標やプロセスを可視化すること、さらには無駄を省いた業務の効率化をはかることが重要となります。

今年度から、会計処理を委託から法人内での処理に切り替え、タイムリーに経営状況を毎月の運営会議で共有する仕組みとしました。

現時点では、令和4年度第4四半期になりようやく事業運営における収支の黒字化が見込めるまでできましたが、通年における黒字化にあと一步のところまで来ることができました。次年度はさらに稼働率を意識し、業務の効率化と人財の有効的な配置により、安定した財務体制の構築をはかりたいと考えます。

(2) 事業継続に向けた基盤整備

事業運営には人財や資金以外にも様々な分野での整備が必要となります。開設から5年が経過し、適正な事業運営を行うために、施設設備や機器類の更新が求められる時期となります。さらには、地域包括ケアシステムの一員として、地域とのネットワーク強化が求められています。

これからさらに5年10年を重ねるにあたり設備・機器類の更新に十分耐えうるための十分な資金の蓄積をおこなっていきます。あわせて地域に認知され地域で事業運営を継続してゆくためのネットワークづくりと協力体制の構築をはかってゆきたいと考えております。

繰り返しになりますが、法人運営および事業運営の要は、人財にほかなりません。しかしながら、職員一人一人がお互いを大切に思い、お互いの仕事を理解し助け合える関係性が醸成できる環境には、まだ十分とは言えません。継続した法人・事業運営を安定的におこなっていくため、上記の目標にそった対応策を講じてゆくとともに、次年度の目標に掲げた「人間力の強化」を念頭に事業運営をすすめてゆきたいと考えております。

引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

II. 法人概要

| | | | |
|--------------------------|--|--|---------------|
| 法人名 | 社会福祉法人みたか福祉会 | | |
| 所在地 | 〒181-0005 東京都三鷹市中原4丁目34番22号 | | |
| 法人設立日 (認可日) | 平成29年1月10日 | | |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症対応型共同生活介護事業 ・ 看護小規模多機能型居宅介護事業 ・ 訪問看護事業 ・ 企業主導型保育事業 | | |
| 事業開始日 | 平成30年3月1日 | | |
| 職員体制 (2023.3.1 現在) | 職種別 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画作成 3名 (常勤 3名) ・ 介護職員 22名 (常勤 11名 / 非常勤 9名 / 派遣 2名) ・ 看護職員 10名 (常勤 2名 / 非常勤 8名) ・ 調理職員 4名 (常勤 0名 / 非常勤 4名) ・ 事務職員 2名 (常勤 2名 / 非常勤 0名) (保育職員 5名 : 常勤 3名 + 非常勤 2名) | <u>合計 41名</u> |

| | | |
|--------------------------|-----|--|
| 職員体制 (2023.3.1 現在) | 部門別 | <ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム 19名(常勤 9名/非常勤 8名/派遣 2名) ・ナースケアセンター 20名(常勤 9名/非常勤 11名) ・訪問看護ステーション 9名(ナースケアセンターと兼務) ・法人管理課 2名(常勤 2名) <p style="text-align: right;">合計 41名</p> |
|--------------------------|-----|--|

Ⅲ. 法人役員等 (五十音順/敬称略)

| 項目 | 氏名 (主な肩書き) |
|----------------|---|
| 理事長 | 山田 義剛 |
| 理事 | 加藤 雅江 (杏林大学 保健学部 健康福祉学科 教授) 酒井 利長 (株式会社三鷹利久 代表取締役) 西尾 隆 (国際基督教大学 教養学部 教授) 日向 博 (特別養護老人ホームケアコート武蔵野 施設長) 山田 早苗 (多世代コミュニティホームふぁみりあ 統括施設長) |
| 監事 | 酒井 利高 (小金井市介護保険運営協議会 副会長) 佐々木信夫 (税理士法人マック・ジェイ 代表社員) |
| 評議員 | 有江 典子 (こどもデイサービスらびい 管理者) 香川 卓見 (三鷹市大沢地域包括支援センター センター長) 国沢 真弓 (一般社団法人発達障がいファミリーサポート Marble 代表) 野村 優子 (杏林大学医学部付属病院 小児科医 医師) 星野 和子 (三鷹市民生・児童委員 前会長) 松木 隆佳 (リベラルアーツ法律事務所 所長 弁護士) 宮崎陽市郎 (株式会社ミタカロジスティクス 代表取締役) |
| 評議員 選任・解任委員 | 酒井 利高 (小金井市介護保険運営協議会 副会長) 品川 健 (社会福祉法人みたか福祉会 法人管理課 職員) 田中今朝壽 (介護老人保健施設三鷹中央リハケアセンター 事務長) |

Ⅳ. 会議の開催および監事監査の実施

(4-1) 理事会/評議員会/評議員選任・解任委員会の開催予定

| 項目 | 開催予定月 | 内容 |
|-----|------------------|--|
| 理事会 | 第1回理事会 令和5年6月 | 監事監査報告 令和4年度 事業報告 令和4年度 決算報告 評議員会の開催 その他決議事項 |
| | 第2回理事会 令和5年6月 | 理事長選任について その他決議事項 |

| | | |
|-----------------|--------------------|--|
| | 第3回理事会 令和6年3月 | 令和5年度最終補正予算 令和6年度事業計画 令和6年度収支予算 その他決議事項 |
| 評議員会 | 第1回評議員会 令和5年6月 | 監事監査報告 令和4年度事業報告 令和4年度決算報告 役員を選任 その他決議事項 |
| 評議員 選任・解任委員会 | 開催に必要な要件が 生じたとき | |

(4-2) 監事監査の実施予定

| 実施予定月 | 監事名 | 監査項目 |
|--------|----------------|--|
| 令和5年5月 | 酒井 利高 佐々木信夫 | 法人定款第11条第1項の規定に基づき、平成28年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況 |

V. 事業所概要

| 事業所名 | 定員 |
|-----------------|-----------------------------|
| グループホームふぁみりあ | 利用定員18名（1ユニット9名） |
| ナースケアセンターふぁみりあ | 登録定員29名（1日の利用定員：通所15名／宿泊5名） |
| 訪問看護ステーションふぁみりあ | 利用定員 定数なし |
| ふぁみりあ保育園 | 利用定員11名（0歳＝3名／1歳＝4名／2歳＝4名） |

※各事業所の事業計画は、別紙「事業計画書」を参照

VI. おもな活動予定

| 月 | 内容 | 月 | 内容 |
|----|------------------|-----|------------|
| 4月 | 全体研修／年次点検（電気&消防） | 10月 | ハロウィン |
| 5月 | 端午の節句／消防訓練 | 11月 | 消防訓練／第三者評価 |
| 6月 | 年次点検（エレベータ） | 12月 | クリスマス会 |
| 7月 | 七夕 | 1月 | 初春会 |
| 8月 | 夏祭り | 2月 | 節分 |
| 9月 | 敬老会 | 3月 | ひな祭り |

◇内部イベント開催

- ・ 偶数月：運営推進会議
- ・ 月2回：運営会議、危機管理会議
- ・ 毎月：各種委員会

◇外部イベント参加

- ・ 4月・7月・10月・1月：GH看小多機連絡会
- ・ 偶数月：ケアネット・しんなか（地域住民団体）

◇外部研修への参加

- ・ ケア専門職交流会（地域包括支援センター主催）
- ・ 三鷹市介護保険事業者連絡協議会の研修
- ・ 三鷹消防署主催の防火実務講習会……年2回

◇外部研修の受入れ

- ・ 杏林大学医学部の学生による見学研修
- ・ 職業訓練校の学生による実習受入れ

◇広報活動

- ・ ケアネット・しんなか委員の当事業所見学会
- ・ 三鷹市介護保険事業者連絡協議会会員の当事業所見学会
- ・ 初任者研修受講生向け企業説明会への参加
（鷹口ネットワーク大楽／クリエ福祉アカデミー 等）

以上